

令和3年度外部評価 事業評価シート

No	2	事業名	空き家対策事業
----	---	-----	---------

所属	建築課	事業開始年度	平成28年度
事業内容	・問題のある空き家(※1)の適正管理及び有効活用に関する事務 ・特定空家等(※2)対策に関する事務 ※1空き家の危険度判定を行いランク0～ランク5までに分類し、ランク2～ランク5までを問題のある空き家と定義しています。 ※2空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき所有者に対して指導・勧告・命令を実施します。(ランク5が対象)		
目的	市民が安全で安心して暮らすことができるように、空き家の適正管理、除却及び活用を促進します。		
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法		
関連事業	無し		

【実施状況】				
活動実績	令和2年度	【是正に関する実績】 ・特定空家等への認定 2件 ・空き家除却費補助金の交付 1件 ・行政代執行にかかる費用の回収		
			平成29年度	平成30年度
		問題のある空き家数(ランク2～ランク5)	170件	180件
		除却(解消)件数	30件	27件
活動実績	令和2年度	【啓発に関する実績】 ・司法書士等による無料空き家相談会の開催(8/29) ・宅建士による不動産・空き家に関する無料相談(月1回) ・空き家を所有する方への案内チラシの作成		
			平成29年度	平成30年度
		司法書士等による無料空き家相談会の参加人数	40人	16人
		不動産宅地建物取引士による不動産・空き家相談会の参加人数	—	—
改善取組 (これまでの改善内容)	平成31年度	【是正に関する実績】 ・行政代執行 1件 【啓発に関する実績】 ・司法書士等による無料空き家相談会の開催(8/31)		
	平成30年度	【是正に関する実績】 ・特定空家等への認定 1件 【啓発に関する実績】 ・無料空き家相談会の開催(9/1)		
改善取組 (これまでの改善内容)		・公益社団法人愛知県宅地建物取引業協会と不動産・空き家に関する無料相談に関する協定の締結 ・公益社団法人安城市シルバー人材センターと空き家の適正な管理の推進にかかる協定の締結 ・空家等対策計画の策定		

別紙2-2

【事業費】				
年間事業費等の推移	No	区分	平成30年度	平成31年度
	①	事業費(決算額)	1,212	12,234
		報酬費	210	18
		旅費	44	64
		需用費	113	77
		手数料	27	6,016
		補助金	800	0
		上記以外	18	6,059
	②	人件費(従事職員数×6,300千円)	0	6,300
		従事職員数(人)	0.0	1.0
財源内訳	③	総事業費(①+②)	1,212	18,534
		一般財源(千円)	612	18,534
		特定財源(国庫補助金など)(千円)	600	0
		財源合計(千円)	1,212	18,534

【活動指標】			
問題のある空き家(ランク2～ランク5)に占める当該年度の除却割合 当該年度除却数／問題のある空き家数	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	3.4% (実績)	2.4% (8月末時点)	4.0% (目標)
空き家無料相談会等への参加人数	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	33人 (実績)	30人 (予定)	60人 (目標)

【成果指標】			
特定空家等への認定	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	2件	0件	0件 (基準の変更案作成)

【課題】	
課題	活動実績・事業成果等を踏まえて記入 安城市空家等対策計画策定後、空き家の所有者に対して是正を働きかけていますが、年度単位では、問題のある空き家の除却割合が低下しています。 今後は、是正に応じない空き家所有者に対してどのようにアプローチしていくのか、また、空き家の発生の抑制のための啓発をどのように行っていくのが課題となっています。

【論点】	
外部評価での論点	特定空家等への認定基準を見直すことにより、是正に応じない空き家の所有者へ対応を強化します。また、問題のある空き家の発生を抑制するため、効果的に啓発等を実施していくことが重要であると考えます。